

「睡眠障害を有する小児に対するチェンブランケットの効果」について研究協力をお願い

**【研究目的】**

睡眠は子どもの発達にとって大きな影響を与えていることは周知の通りです。近年、発達障害の子どもの中には睡眠障害をもつということが分かっており睡眠不足（時間及び質）が問題とされています。睡眠不足は発達のみならず、集中力の欠如や落ち着きのなさといった、発達障害にみられる症状を助長すると言われており、その対処法として薬物療法を行うことがあります。効果を得られない場合もあり、非薬物療法の検討もされています。その中で、スウェーデンで開発された「チェンブランケット」は睡眠障害を改善させる効果があるとされ注目されています。しかし日本人での研究は少ない状況です。

チェンブランケットを使用する事により、小児への睡眠障害が改善するかどうかの研究を実施することとしました。

**【対象】**

当院小児神経科を受診し、睡眠障害があると認められた小児患者

**【方法】**

対象患者に対して、年齢、性別、診断名、薬物療法の有無、薬物療法がある場合は薬剤名、睡眠時無呼吸の有無をカルテより抽出。チェンブランケット使用前・使用後に睡眠の評価として質問紙を使用する。質問紙は OSA-18 日本語版、睡眠日誌を使用する。

**【研究期間】**

平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月

**【個人情報について】**

症例を特定されないよう、名前は公表せず、日付に関しても表記しない。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

**【研究代表者】**

診療部医師 臼井大介

リハビリテーション部理学療法士 森下誠也

**【代表者連絡先】**

電話番号：0887-38-7111